

草の根通信

< 2005.12.20 >

Vol.48

URL: <http://www.manjiro.or.jp>

E-mail: info@manjiro.or.jp

財団法人 ジョーン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
住所: 〒102-0083 千代田区麹町2丁目
12-18 グランアクス麹町602号室
電話: 03 3511 7171 // Fax : 03 3511 7175

第16回日米草の根交流サミットコロラド大会開催!



コロラド大会 開催のお知らせ

来年(2006年)9月は、「第16回日米草の根交流サミットコロラド大会」がコロラド州で開催されます。メイン会場となるコロラドスプリングス市にはこの大会の主催者である(財)国際草の根交流センターのカウンターパートがあり、日米の草の根交流を促進する大会の意義をよく理解している人々によって準備、運営されます。必ずや同じ志を持った人々に出会えることと思います。

The Broadmoor -ザ・ブロードモア

コロラド・スプリングスでは「ザ・ブロードモア」に宿泊します。

「世界で一番美しいリゾート地」を目指して1916年に創業された五つ星ホテルです。ホテルにはスパをはじめ、ワールド・ツアーの会場にもなるゴルフ・コース、そして11の世界で有名なレストランが宿泊者を楽しませます。

スパでは、ホテル周辺の高地動植物から作った製品によるマッサージ、スキン・ケアのおもてなしが受けられます。

ブロードモア・ゴルフ・コースは宿泊者にのみ許されているプライベート・コースです。今大会では、希望した方には9月6日と10日にトーナメント形式でプレイできます。

レストランでは、受賞したチャールズ・コート(Charles Court)や、ヨーロッパ・スタイルのカフェ・ジュリー(Café Julie)など、宿泊者の様々な要望にこたえてくれます。来年6月に改修を終えてオープンするペンローズ・ルームでは本格的なディナーの他にエレガントなダンスや音楽も楽しめます。

大会日程

- 9/5(火) 成田空港出発、米国コロラド州デンバー空港到着
バスでコロラド・スプリングスへ移動
ザ・ブロードモアで宿泊
- 9/6(水) オリエンテーション、夕方まで自由時間
オープニング・セレモニー、ウェルカム・パーティー
ザ・ブロードモア宿泊
- 9/7(木) 地域分科会、ホームステイ
- 9/8(金) 地域分科会、ホームステイ
- 9/9(土) 地域分科会、ホームステイ
- 9/10(日) コロラド・スプリングス集合、クロージング・セレモニー
フェアウェル・パーティー、ザ・ブロードモア宿泊
- 9/11(月) コロラド・スプリングス出発、
デンバー空港からサンフランシスコ空港へ移動
サンフランシスコで半日自由行動
サンフランシスコ空港付近のホテルに宿泊
- 9/12(火) サンフランシスコ空港出発、機内泊
- 9/13(水) 成田空港到着、解散

オプション・ホームステイ・プログラム

- 9/11(月) デンバー空港出発、各オプション・プログラムへ
各地域でホームステイ
- 9/12(火) ホームステイ・プログラム
- 9/13(水) ホームステイ・プログラム
- 9/14(木) 各地域出発、米国内ホテル宿泊
- 9/15(金) 米国空港出発、機内泊
- 9/16(土) 成田空港到着

協賛企業

NTTコミュニケーション株式会社 / 三菱商事株式会社 / 全日本空輸株式会社 / トヨタ自動車株式会社 / 明治安田生命保険相互会社 / 東京電力株式会社 / 株式会社大庄 / 武田薬品工業株式会社 / 株式会社菱食 / イオン株式会社 / 株式会社永谷園 / 東京海上日動火災保険 / キリンビール株式会社 / コカコーラ セントラル ジャパン株式会社

地域分科会(ホームステイ・プログラム)

チェーフイー・カウンティ (Chaffee County)

定員 : 25名

雄大な山々と水晶のように透き通った急流の川を背景にした芸術と歴史

「ベスト・アメリカンドリーム・タウン」に認められた町があり、4200メートル級の山々とアーカンソー川に囲まれた地域です。9月には秋の収穫を祝う「アップル・フェスティバル」がターナー農場で開催されます。自家製のアップルパイや、りんご狩り、りんごを使ったゲームなども楽しめます。



テラー・カウンティ (Teller County)

定員 : 15名

テラー・カウンティ周辺の自然史を調査しよう

地質学や古生物学の専門家であるキーパーソンが案内してくれます。ガーデン・オブ・ゴッズという珍しい形をした赤岩がある地で地質の理解を深めたり、恐竜博物館を訪問したり、またフローリサント化石層国定記念公園で化石への理解を深め、化石探掘も体験できます。他にもまだ探掘されていない恐竜の化石を見る穴場や、ピクサー金鉱も訪問します。天体物理学者でもあるキーパーソンの家での「星空パーティー」も予定しています。



マニトウ・スプリングス(Manitou Springs)

定員:
20
名

ミネラルの温泉や芸術を含む私たちの歴史

パイクス・ピークの丘陵地帯に包み込まれたマニトウ・スプリングスは、豊かな歴史を持つ小さな町で、美しい南西部の風景に囲まれ、多様性を求める訪問者にとって理想の目的地です。マニトウ・スプリングスを有名にしたミネラルの温泉を巡ったり、有史以前にネイティブ・アメリカンが住んでいたクリフ・ドゥエリング(崖の住宅地)を訪問したりするのもお勧めです。パイクス・ピークへ登るゴグ列車の出発地でもあります。

ラ・ハンタ (La Junta)

定員 : 15名

谷あいの甘いメロンの中心地

サンタフェ・トレイルに位置する、温暖な気候の町です。人口は一万人程の現代的な地域ですが、歴史的建造物や雄大な自然もよく保護されています。アーカンソー川沿いでは野生動物を間近で見ることができます。このプログラムでは農場やキャンタローブ・メロン倉庫の見学、ジョン・ディア社の販売店で農機具のデモを見学します。また地元の博物館とベント岩、コシャレ・インディアン・ダンサーによる催しも予定しています。



ラ・ヴェータ (La Veta)

定員 : 10名

古き西部の文化

インディアンの言葉で“地球の胸”という名前を持つ山のふもとに位置するラ・ヴェータは人口800人程の小さな町で、ロデオや牛、馬は今でも生活の一部です。“古き西部”の生活を映し出すフォート・フランシスコを始め、芸術品のような町並みが魅力的なここでは、乗馬で高地の美しさを味わうこともできます。ゴルフ・コースやスキー場の開発を手がけているキーパーソンが自慢する、ゴルフ・コース(プロゴルファー・トム・ワイスコフ氏設計)もこの町にあります。

協賛企業

キャノン株式会社 / 野村ホールディングス株式会社 / 新日本石油株式会社 / 東京ガス株式会社 / 四国電力株式会社 / 関西電力株式会社 / 中部電力株式会社 / 株式会社東芝 / 株式会社日立製作所 / トヨタフィナンシャルサービス株式会社 / 日本郵船株式会社 / 富士ゼロックス株式会社 / 森ビル株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社

地域分科会(ホームステイ・プログラム)



ウエストクリフ (Westcliffe)

定員 : 10名

牧畜と農業(干し草つくり)

ロッキー山脈王国のクラウン・ジュエルと称えられるほど美しく、魅力的なウェット・マウンテン・バレーの地域に位置します。鹿やアンテロープ、野生の七面鳥やボブキャット、マウンテン・ライオンが生息し、ドライブやハイキングで見ることができます。ウエストクリフの魅力は自然だけではなく、生活する人々の純粋さと温かさもこの地の大きな魅力です。

このプログラムではハイキングや、乗馬やマウンテンバイク、釣りやチームペニングなど現在計画中です。

クリアー・クリーク・カウンティ (Clear Creek County)

定員:
20名

歴史的な鉄道と採掘の町

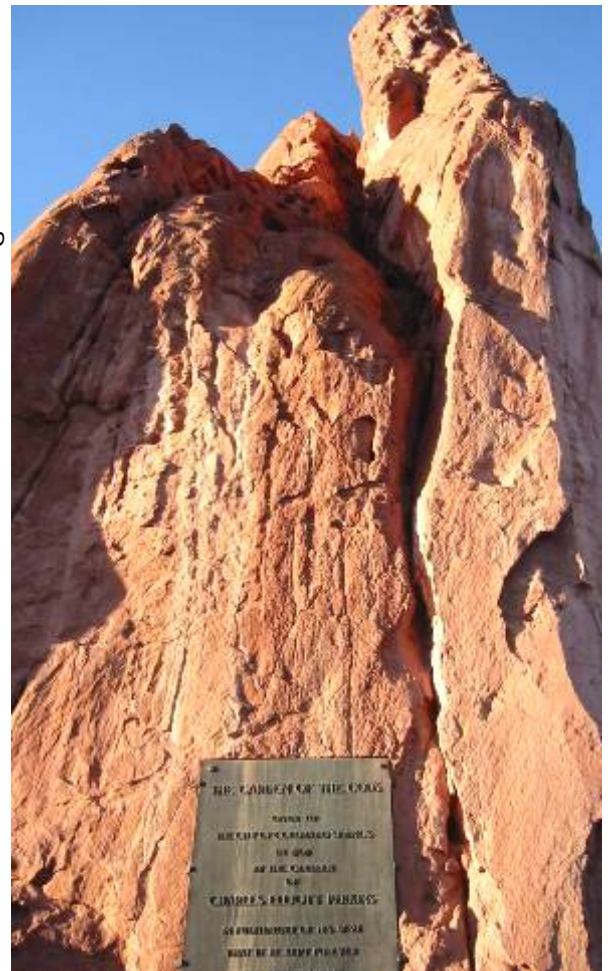
コロラドで最も歴史的で保存状態の良いこの町では、鉄道と採掘の歴史を体験できます。蒸気機関車「ジョージタウン・ループ歴史鉄道」に乗り、今も使われている金鉱で選鉱をして、昔にタイムスリップしましょう。他にもインディアンの温泉リゾートの温泉につかったり、クリアー・クリークの急流をいかだで下ったり、世界最大のモリブダム山鉱山のツアーに参加して現代の鉱山技術を見学したりできます。

ロイヤル・ゴージ・カントリー (Royal Gorge Country)

定員:
15名

ロイヤル・ゴージ・カントリー

愛称として呼ばれるこの地域には、キャニオン・シティを中心に約29,200人が在住しています。このビジネス街は歴史的商業区の一つで、国内の史跡名簿にも掲載されています。地域の特徴としては、標高世界一のつり橋・ロイヤル・ゴージ・ブリッジやコロラド州の矯正局、連邦刑務所があることです。観光地として人気なのが、バックスキン・ジョー・フロンティア・タウンや、ロイヤル・ゴージ・ルート(峡谷を通る観光列車)などです。



デンバー (Denver)

定員 : 30名

芸術、文化そして美術館

デンバーはコロラド州の州都で、人口は約200万です。海拔1マイル(約1600m)の高さに位置するため、「マイル・ハイ・シティ」とも呼ばれています。優れた文化的行事や施設が沢山あり、全て見るには3日間では足りません。このプログラムでは芸術、音楽、演劇、そして素晴らしい美術館の探求に的を絞ります。



コロラド・スプリングス (Colorado Springs)

定員:
50名

コロラド・スプリングス - カウボーイの昔と今

近代的な町でありながら、古きカウボーイと金鉱の町の雰囲気を残している地です。ロデオの殿堂で史上最も偉大なカウボーイの紹介を見学し、西部博物館ではアメリカ西部の探検について学べます。自然以外では、オリンピック・トレーニングセンターや空軍士官学校、オールド・コロラドシティも見所です。ジーンズとブーツに着替えてカウボーイの国を楽しんでください。

協賛企業

オムロン株式会社 / 株式会社大島造船所 / 株式会社エヌ・ティ・ティ・ピー・シーコミュニケーションズ / 企業通信システムエンジニアリング株式会社 / エヌ・ティ・ティ・ファネット・システムズ株式会社 / エヌ・ティ・ティ・ワールドエンジニアリングマリン株式会社 / 株式会社サミックス / 宇佐美工業株式会社 / 株式会社キノシタ

説明会のお知らせ コロラド大会の現地のお話をします！

毎年、希望者を対象にサミット大会の募集説明会を行っております。

コロラド大会に関しては、日本各地で2005年10月より説明会を行っております。既に山形県、東京都、千葉県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、京都府、広島県で行いました。

説明会では、地域分科会の詳しい説明や、大会スケジュールなどをお話します。事務局側からの話だけでなく、説明会に出席された方の趣味や興味などから、分科会をお勧めすることもあります。

どの説明会でも質問タイムは必ず取っています。

中学生のお子さんだけで参加する場合の不安点や、多くの方がお悩みの英会話に関する質問も一つ一つお答えしていきます。

近場で説明会の予定がない場合は、お問い合わせください。

コロラド日本人物語

書籍紹介：「日系アメリカ人と戦争 六〇年後の真実」 今田栄一・順子著



「コロラド日本人物語 日系アメリカ人と戦争 六〇年後の真実」が榊パレードから出版されました。

著者の今田栄一氏は、コロラド州で毎週発行の『ロッキー時報』の編集長でもあります。

著書でも紹介されているように、『ロッキー時報』は1961年に創刊され、以後途切れることなく44年間発行され続けています。

創刊した当初は、コロラド州のジャパソサイエターの開拓者である日系アメリカ人一世(*1)も大きく貢献していました。

今田夫妻は1978年に、後継者のなかった『ロッキー時報』の発行を引き継ぎました。引き受けた当初は、現地の日系アメリカ人一世の方々には紙面の組み方

やルールを教えてもらっていたそうです。

今田氏の著書には、アメリカ・コロラド州に渡った日本人の歴史が時代を追って紹介されています。

明治20年に初めてコロラド州へ渡った日本人・松平忠厚の話や、戦前の日系アメリカ人一世の話、そして第二次世界大戦中の日系アメリカ人の話が具体的な人の名前とともに紹介されています。

本書の終わりには、初めてコロラド州へ渡った日本人・松平忠厚の子孫の話があり、まさにコロラド州の日系アメリカ人の一世紀の歴史がつづられています。

コロラド大会前に、その歴史をぜひお読みください。

2005年11月9日 21:00～

テレビ番組紹介：「その時歴史が動いた」 ジョン万次郎 ～鎖国の扉を開いた漂流民の挑戦・米国のスパイか愛国者か～

昨年11月9日にNHK総合の「その時歴史が動いた」という歴史番組で、ジョン万次郎の特集が放映されました。ジョン万次郎の漂流から幕末の

様子まで、とてもわかりやすく再現されていました。2004年に開催された「第14回日米草の根交流サミットニューイングランド大会」で訪れたフェアヘ

ーブンや万次郎が住んでいた家も紹介されていました。

第14回サミットニューイングランド大会より



万次郎が住んだホイットフィールド船長の家



フェアヘブンの図書館に飾ってあるジョン万次郎とホイットフィールドの絵画



ジョン万次郎が通った小学校

「草の根通信」の記事募集！！

「草の根通信」に掲載する記事を募集しています。サミット大会で出会った方との、その後の

交流やNPO活動などをどうぞお寄せください。

(時期によって、必ず掲載できるとはかぎりません)

協賛企業

株式会社梅田工業 / 有限会社愛知マグマ / 藤光海運株式会社 / 株式会社大原工務店 / 株式会社石川工業 / 宇佐美産業有限会社 / 株式会社村上工業 / 株式会社JPホールディングス / 株式会社クルーズ / 株式会社丸万 / 株式会社水谷海苔店 / 株式会社メディウムジャパン / 株式会社バイオメトリカシステム・アジア (順不同)